

授業計画（シラバス）

【2024年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	二級建築士・学科				
② 対象学科	工業専門課程 建築ライセンス科	③ 履修学年	1		
④ 必修・選択の別	選必A	⑤ 時間数	330	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)	徳山 竜	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
<p>二級建築士試験の学科試験の合格を目指し、「学科Ⅰ」「学科Ⅱ」「学科Ⅲ」「学科Ⅳ」分野の学習を行う。各分野について過去の出題内容を踏まえ、基礎的な項目については完全習得を目指す。また、基礎的な内容に留まらず応用力を養っていくことで、建築士として必要な技術と知識を身につける。</p>					
⑪ 授業の概要					
<p>過去問題の徹底分析を行い、関連することからや応用的内容までを幅広く学習する。また、各單元ごとに学習達成度を小テスト等を実施し確認する。各自の学習達成度を把握することで、以後の授業の組立てを検討しながら授業をすすめていく。</p>					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 3 時間目	学科Ⅰ_日本建築史、西洋建築史、近代・現代建築史				
4 ～ 31 時間目	学科Ⅰ_環境原論（音、換気、伝熱、日照、色彩他）				
32 ～ 55 時間目	学科Ⅰ_計画各論（専用住宅、集合住宅、商業建築、公共建築、各部計画他）				
56 ～ 72 時間目	学科Ⅰ_建築設備（空調調和設備、給排水設備、電気設備、防災・消防設備他）				
73 ～ 82 時間目	学科Ⅰ_演習問題				
83 ～ 85 時間目	学科Ⅱ_用語の定義				
86 ～ 135 時間目	学科Ⅱ_建築基準法（面積・高さの算定、手続等、一般構造、防火規制、内装制限他）				
136 ～ 155 時間目	学科Ⅱ_その他法令（建築士法、建設業法、バリアフリー法、都市計画法他）				
156 ～ 165 時間目	学科Ⅱ_演習問題				
166 ～ 195 時間目	学科Ⅲ_構造力学（用語と単位、応力度、力のモーメント、静定ラーメン、静定トラス他）				
196 ～ 215 時間目	学科Ⅲ_一般構造（荷重・外力、地盤・基礎、木構造、鉄筋コンクリート構造、鉄骨構造他）				
216 ～ 238 時間目	学科Ⅲ_建築材料（木材、コンクリート、鋼材、その他）				
239 ～ 248 時間目	学科Ⅲ_演習問題				
249 ～ 261 時間目	学科Ⅳ_施工管理法（施工計画、工程管理、安全管理、品質管理）				
262 ～ 286 時間目	学科Ⅳ_躯体工事（仮設工事、型枠工事、鉄筋工事、コンクリート工事、木工事他）				
287 ～ 310 時間目	学科Ⅳ_仕上工事（防水工事、左官工事、タイル工事、塗装工事、内装工事他）				
311 ～ 320 時間目	学科Ⅳ_測量、積算他				
321 ～ 330 時間目	学科Ⅳ_演習問題				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書	二級建築士学科 受験テキスト（学科Ⅰ 計画 学科Ⅱ 法規 学科Ⅲ 構造 学科Ⅳ 施工）			出版社：日建学院
	教材	配布資料			著者：
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	050101

授業計画（シラバス）

【2024年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	一級建築士・製図				
② 対象学科	工業専門課程 建築ライセンス科	③ 履修学年	1		
④ 必修・選択の別	選必B	⑤ 時間数	330	⑥ 授業形態	講義
⑦ 担当教員(代表)	石橋 敦士	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 評価基準	定期試験を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
一級建築士設計製図課題に対する、計画手法を学びました、作図技術を向上させ、実技試験合格を目差す。建築物を設計することで、建築士の責任意識を高め社会から歓迎される人柄を養い、即戦力として活躍出来る人材に育てる。					
⑪ 授業の概要					
製図の実習形式で、計画から作図の演習を行い、建築設計図の基本を認識し、模擬問題を通して設計課題製図に対する実技の修得をする。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 2 時間目	一級建築士設計課題図面 計画手法				
3 ～ 4 時間目	一級建築士設計課題図面 練習①（問題の読み取り）				
5 ～ 6 時間目	一級建築士設計課題図面 練習①（計画・法規）				
7 ～ 8 時間目	一級建築士設計課題図面 練習①（構造・設備）				
9 ～ 10 時間目	一級建築士設計課題図面 練習①（計画の要点）				
11 ～ 12 時間目	一級建築士設計課題図面 練習①（エスキス指導）				
13 ～ 330 時間目	一級建築士設計課題図面 模擬試験				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書	一級建築士 設計製図 基礎テキスト	出版社：日建学院		
			著者：		
	教材	配布資料			
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	050116

授業計画（シラバス）

【2024年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	一級製図		
② 対象学科	工業専門課程 建築ライセンス科	③ 履修学年	1
④ 必修・選択の別	必修	⑤ 時間数	50
⑦ 担当教員(代表)	遠藤 忠俊	⑥ 授業形態	実習
⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。		
⑩ 授業の目的・目標			
1級建築士製図試験対策として、建築基準関係法令や建築計画・構造計画についての知識を習得し、作図力も養う。			
⑪ 授業の概要			
課題問題文を読み解き、ゾーニング・プランニング例と対比させることで設計主旨の理解力を身に付ける。その後、作図実習を通しスケーリング能力と模範的動線計画の考え方を修得する。			
⑫ 授業内容・授業計画			
1 ～ 5 時間目	科目の概要と全体の流れ		
6 ～ 10 時間目	「市街地に建つ診療所等のある集合住宅」の課題文読み解きとゾーニング		
11 ～ 15 時間目	「市街地に建つ診療所等のある集合住宅」のプランニング・エスキース		
16 ～ 20 時間目	「市街地に建つ診療所等のある集合住宅」の作図		
21 ～ 25 時間目	「地方都市に建つ美術館」の課題文読み解きとゾーニング		
26 ～ 30 時間目	「地方都市に建つ美術館」のプランニング・エスキース		
31 ～ 35 時間目	「地方都市に建つ美術館」の作図		
36 ～ 40 時間目	「アトリウムと小ホールをもつ地域図書館」の課題文読み解きとゾーニング		
41 ～ 45 時間目	「アトリウムと小ホールをもつ地域図書館」のプランニング・エスキース		
46 ～ 50 時間目	「アトリウムと小ホールをもつ地域図書館」の作図		
～ 時間目			
⑬ その他	教科書	出版社：	
	教材	配布資料	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。		科目コード 050222

授業計画（シラバス）

【2024年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	総合演習（生産・積算・施工図）				
② 対象学科	工業専門課程 建築ライセンス科	③ 履修学年	1		
④ 必修・選択の別	選必1	⑤ 時間数	150	⑥ 授業形態	実習
⑦ 担当教員(代表)	徳山 竜	⑧ 実務経験	施工実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
建築生産における施工管理法、積算業務、施工図面作成についての総合的な実務能力を養う。					
⑪ 授業の概要					
実習形式授業により施工管理法、建築積算、施工図作成についてそれぞれ概論説明をした後、課題を与える。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 10 時間目	生産（施工計画）				
11 ～ 20 時間目	生産（品質管理）				
21 ～ 30 時間目	生産（工程管理）				
31 ～ 40 時間目	生産（安全管理）				
41 ～ 50 時間目	生産（原価管理）				
51 ～ 60 時間目	積算（土工事）				
61 ～ 70 時間目	積算（コンクリート工事）				
71 ～ 80 時間目	積算（型枠工事）				
81 ～ 90 時間目	積算（鉄筋工事）				
91 ～ 100 時間目	積算（内装工事）				
101 ～ 110 時間目	施工図（杭伏せ図）				
111 ～ 120 時間目	施工図（基礎伏せ図）				
121 ～ 130 時間目	施工図（見下げ図）				
131 ～ 140 時間目	施工図（見上げ図）				
141 ～ 150 時間目	施工図（天井伏せ図・展開図）				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書			出版社：	
	教材	配布資料		著者：	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	050224

授業計画（シラバス）

【2024年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	総合演習（設計・都市計画）				
② 対象学科	工業専門課程 建築ライセンス科	③ 履修学年	1		
④ 必修・選択の別	選必2	⑤ 時間数	150	⑥ 授業形態	実習
⑦ 担当教員(代表)	内藤 義幸	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
住宅設計業務の実務としてのデザイン知識を養い、プレゼンテーション能力を養う。 まちづくりファシリテーター講習を通し、まちづくり全般の知識とワークショップ能力を養う。					
⑪ 授業の概要					
設計における住宅総合デザインについての知識習得授業（15時間） プレゼンテーション資料作成（40時間） プレゼンテーション（5時間） まちづくりファシリテーター養成講座（90時間）					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 5 時間目	住宅デザイン演習（外壁・屋根・エクステリア）				
6 ～ 10 時間目	住宅デザイン演習（内装）				
11 ～ 15 時間目	住宅デザイン演習（家具）				
16 ～ 55 時間目	住宅デザイン演習（プレゼンテーション資料作成）				
56 ～ 60 時間目	住宅デザイン演習（プレゼンテーション）				
61 ～ 76 時間目	都市計画（まちづくりファシリテーターとしての役割・技術）				
77 ～ 90 時間目	都市計画（復興まちづくり演習）				
91 ～ 105 時間目	都市計画（リノベーション技術）				
106 ～ 135 時間目	都市計画（インスペクション演習）				
136 ～ 150 時間目	都市計画（まちづくりフィールドワーク）				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書			出版社：	
	教材	配布資料		著者：	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	050225

授業計画（シラバス）

【2024年度入学生対象】

東海工業専門学校金山校

① 科目名	総合演習（一級学科）				
② 対象学科	工業専門課程 建築ライセンス科		③ 履修学年	1	
④ 必修・選択の別	選必3	⑤ 時間数	150	⑥ 授業形態	実習
⑦ 担当教員(代表)	遠藤 忠俊	⑧ 実務経験	設計実務経験者		
⑨ 評価基準	提出課題を各100点満点として実施し、60点以上を合格とする。				
⑩ 授業の目的・目標					
一級建築士学科試験対策として、学科Ⅱ（環境・設備）・学科Ⅲ（建築法規）・学科Ⅳ（建築構造）・学科Ⅳ（建築施工）の4科目について学習する。					
⑪ 授業の概要					
一級建築士学科試験の出題範囲において、難易度Bレベルの問題解説を通し、一級建築士学科試験対策の基礎を養う。					
⑫ 授業内容・授業計画					
1 ～ 15 時間目	学科Ⅱ（環境）				
16 ～ 45 時間目	学科Ⅱ（設備）				
46 ～ 100 時間目	学科Ⅲ（建築法規）				
101 ～ 120 時間目	学科Ⅳ（建築構造：力学）				
121 ～ 135 時間目	学科Ⅳ（建築構造：一般構造）				
136 ～ 150 時間目	学科Ⅴ（建築施工）				
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
～ 時間目					
⑬ その他	教科書			出版社：	
	教材	配布資料		著者：	
備考	⑤については、50分授業を1単位時間とする。単位換算については講義・演習は15単位時間を1単位、実験・実習・実技は30単位時間を1単位とする。また、単位換算は小数点以下を切り捨てる。ただし、0.5以上1.0未満のものは0.5単位とする。			科目コード	050226